声掛けは 仲間を守る いのち綱（全国統一スローガン）
公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会
# 安全就業ニュース
2026年 10 月臨時増刊号

## 特集 ｜ 令和８年度 安全就業表彰団体

### 「安全就業優秀・優良<シルバー人材センター／連合>表彰を受賞して」

令和8年度「安全就業シルバー人材センター及び連合」各賞を受賞された全22団体の取り組み状況報告をまとめ、「臨時増刊号」として掲載いたしました。

各シルバー人材センターならびに連合本部におかれましては、本内容を参考としていただき、「安心・安全」なシルバー事業のさらなる発展にお役立てくださいますようお願いいたします。

受賞団体

### 優秀賞 【11団体】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 仙台市シルバー人材センター | （宮城県）<受賞2度目> | 桑名市シルバー人材センター | （三重県） |
| 鶴岡市シルバー人材センター | （山形県） | 養父市シルバー人材センター | （兵庫県）<受賞２度目> |
| 能美市シルバー人材センター | （石川県） | 三田市シルバー人材センター | （兵庫県） |
| 勝山市シルバー人材センター | （福井県）<受賞2度目> | 上板町シルバー人材センター | （徳島県） |
| 設楽町シルバー人材センター | （愛知県） | 西原町シルバー人材センター | （沖縄県） |
| 幸田町シルバー人材センター | （愛知県） | | |

### 優良賞 【 9団体】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 横須賀市シルバー人材センター | （神奈川県） | 知立市シルバー人材センター | （愛知県） |
| 小田原市シルバー人材センター | （神奈川県） | 公益財団法人 こうべ産業・就労支援財団 | |
| 上越市シルバー人材センター | （新潟県） | 神戸市シルバー人材センター西区センター | （兵庫県） |
| あわら市シルバー人材センター | （福井県） | 智頭町シルバー人材センター | （鳥取県） |
| 江南市シルバー人材センター | （愛知県） | 日向市シルバー人材センター | （宮崎県） |

### 連合優秀賞 【 1団体】

高知県シルバー人材センター連合会

### 連合優良賞 【 1団体】

茨城県シルバー人材センター連合会



★★

# 公益社団法人 仙台市シルバー人材センター （宮城県）

優秀賞

（2 度目の受賞）

## 1 仙台市の概要

仙台市は宮城県のほぼ中央に位置し、伊達政宗公の時代から、東北地方の中心都市として発展してきています。東北地方で唯一の政令指定都市である仙台市は、106 万人の人口を擁し、首都圏からの良好なアクセスもあいまって、周辺市町村を含めて約 150 万人の仙台都市圏を形成し、東北地方の商業の中心となっています。また、仙台市及びその近郊には大学、高等専門学校、専門学校といった高等教育機関が多数あり、若くて優秀な学生が集まるまち「学都」としても有名です。学生も含む若年層の人口割合も国内トップクラスであり、力強く、活気のある街です。

## 2 安全就業への取り組みについて

（1）安全就業推進委員会

会員 9 名、外部理事 1 名、職員 2 名で構成する安全就業推進委員会を設置し、年 4 回の委員会を開催しています。安全就業を推進し、事故「ゼロ」を目指す活動を行い、会員の安全意識の高揚のため、啓発活動を行っています。

（2）事故ゼロを目指した活動の推進

全期間を通して安全就業を推進していますが、安全・適正就業強化月間である 7 月においては、屋外作業を中心に熱中症予防の周知や安全保護具着用の徹底、「緊急連絡カード」携帯の徹底を図るために、夏期パトロールを実施しています。「安全就業推進委員会だより」を全会員に配布し、特に熱中症予防のために、体調管理に十分注意し、適度な休息と水分補給をとるように注意喚起を行っています。

また、抜き打ちの不定期パトロールを 11 月に行い、屋内管理等を中心に対応マナー、健康管理、「緊急連絡カード」携帯の徹底を図るために安全パトロールを行っています。

その他にも、繁忙期前に重点職群グループ全員に安全就業についてのミーティングを開催して、安全就業の徹底に取り組んでいます。

（3）安全講習会の実施

毎年テーマを決めて、安全に関する講演会や体験発表会を開催し、安全意識の啓発に努めています。



(4)安全標語の募集

会員から安全標語の募集を行って優秀作品の選考・表彰を実施し、会員の安全意識の向上を図っています。

## 3 今後に向けて

今回で3度目の受賞（優良賞含む）となります。表彰を受けて、今後も更なる安全就業の意識徹底を図り、各種研修会等の充実に努め、「事故ゼロ」を目指して取り組んでまいります。

センターの概要（令和 7 年度）

| | | |
|---|---|---|
| ① | 会員数 | 2,963 人 （男性 1,901 人 、女性 1,062 人） |
| ② | 粗入会率 | 0.88% |
| ③ | 就業率 | 72.5% |
| ④ | 就業実人員 | 2,147 人 （請負・委任 1,974 人、 派遣事業 239 人） |
| ⑤ | 就業延人員 | 217,897 人 （請負・委任 189,458 人、 派遣事業 28,439 人） |
| ⑥ | 契約金額 | 1,218,203,888 円 （請負・委任 1,046,166,801 円、 派遣事業 172,037,087 円） |

優秀賞

# 公益社団法人 鶴岡市シルバー人材センター （山形県）

## 1 鶴岡市の概要

山形県南西部に位置する鶴岡市は、出羽三山（月山・羽黒山・湯殿山）の山岳信仰や、徳川四天王・酒井家が治めた旧庄内藩の城下町として栄えた歴史ある文化都市です。広大な庄内平野では米作りが盛んで、豊かな自然が育む「だだちゃ豆」をはじめとする伝統野菜や、日本海からの新鮮な海の幸など、多彩な食文化が根付いています。この独自の食文化が世界的に高く評価され、2014 年には日本で初めて「ユネスコ食文化創造都市」に認定されました。さらに、先端生命科学研究所をはじめとするバイオテクノロジー産業の拠点としても注目を集めており、伝統と革新が融合した魅力あふれるまちとして発展を続けています。

## 2 安全就業への取組について

（1）安全・適正就業推進委員会

会員6名、理事2名、職員2名で構成する安全・適正就業推進委員会を設置し、4回程度の委員会を開催しています。

（2）会員への啓発活動

「安全・適正就業推進委員会だより」を発行して「安全就業」、「事故ゼロ」の啓発活動を積極的に行うとともに、事故防止対策の優れた取組の情報を会員に周知することで、会員一人ひとりの安全就業に対する意識の高揚を図っています。

（3）安全パトロール、安全講習会の実施

事故が発生した場合には、委員会で原因等を調査・分析して今後の対策を検討しています。また、抜き打ちによる安全パトロールを積極的に実施して事故の未然防止に努めています。各作業の安全講習会や会議も開催していますが、刈払機を使用した草刈り作業での飛び石事故が増えたことから、草刈り作業従事会員の安全講習会を開催して、安全確認の徹底・石の飛びにくい刃の使用や防護ネットの活用について指導しています。

（4） 傷害、賠償事故への対応

発生した事故の内容について、安全・適正就業審査要綱等に基づき、作業会員の明らかな違反があった場合は、賠償金及び免責額の会員負担について、適正に対処しています。

## 3 今後に向けて

今回の受賞を励みに、今後も「安全就業」、「事故ゼロ」を目指して、安全講習会の開催や会員の安全意識の高揚に努めてまいります。



▲草刈作業講習会

**センターの概要（令和７年度）**

① 会員数　951 人　（男性 578 人　、女性 373 人）
② 粗入会率　1.88%
③ 就業率　95.6%
④ 就業実人員　909 人　（請負・委任 618 人、　派遣事業 291 人）
⑤ 就業延人員　100,109 人　（請負・委任 71,421 人、　派遣事業 28,688 人）
⑥ 契約金額　4 億 8,807 万円　（請負・委任 3 億 2,417 万円、　派遣事業 1 億 6,390 万円）

優秀賞

# 公益社団法人 能美市シルバー人材センター （石川県）

## 1 能美市の概要

能美市は石川県の南部、加賀平野のほぼ中央に位置し、県都金沢へは北東約 20km の距離にあり、南には日本海側の拠点「小松空港」がある小松市に接しています。西部に白砂青松の美しい海岸線を有する日本海を望み、中央部には標高 2,702m の霊峰白山から流れ出る手取川と梯川に挟まれた扇状地、そして東側には白山山系に連なる能美丘陵が美しい稜線を描いており、海・山・川・平地の自然に恵まれた、非常に豊かな地勢です。

石川県内唯一の「いしかわ動物園」は、子どもたちの夢を育む楽しい学習の場として緑に囲まれた自然の中、四季折々の楽しみ方があり、園内には子どもたちの歓声が響いています。

## 2 安全就業への取組について

（1）安全・適正就業委員会の活動

年間事業計画に基づき、安全・適正就業委員 12 名による3班体制でパトロールを実施しています。事故が発生した場合は、その原因を調査した上で再発防止に向けた対策を協議することとしています。

（2）安全用品の貸与

個人事業者となる会員ですが、就業に必要な安全器具（養生シート等）の貸与に努めています。昨年から試験的に石飛びが少ない刈刃の支給を行っており、効果がみられることから本格導入を検討中です。

（3）各種講習会の実施

シーズンが始まる3月頃に、各種講習会を実施しています。刈払機安全講習や家庭内事故防止、今年は、お客様への丁寧な応対や一緒に働く会員同士の円滑なコミュニケーションを図って事故防止に繋げるため接遇研修を行ったところです。

今後は、会員の身を守る熱中症対策をより一層充実させる必要性が高まっていると感じています。

## 3 今後に向けて

事故を起こすことで会員自身の面目を大きく損なうことを嫌う会員が多く、より安全に留意しながら就業を行うようになってきました。今後は『事故ゼロ』を目指して、会員・役職員共々安全就業に努めてまいります。





センターの概要（令和 7 年度）

① 会員数　414 人　（男性 237 人、女性 177 人）
② 粗入会率　2.6%
③ 就業率　82.1%
④ 就業実人員　393 人　（請負・委任 340 人、 派遣事業 120 人）
⑤ 就業延人員　46,382 人　（請負・委任 35,022 人、 派遣事業 11,360 人）
⑥ 契約金額　1 億 4,020 万円　（請負・委任 9,757 万円、 派遣事業 4,263 万円）

★★

優秀賞

# 公益社団法人 勝山市シルバー人材センター （福井県）

（2度目の受賞）

## 1 勝山市の概要

1 勝山市の概要

勝山市は、福井県の東北部に位置し、日本を代表する「福井県立恐竜博物館」があり、年間 170万人もの観光客が訪れる市となっています。春は九頭竜川沿いに弁天桜が咲き誇り、国立公園白山平泉寺の苔の緑色がまぶしい季節です。夏には「九頭竜川かつやま鮎」の友釣りを楽しみ、秋には市内あちこちで赤とんぼが舞う姿をみることができます。冬は真っ白になった白山を眺めながら「JAM 福井勝山マウンテンリゾート」で、スキーやスノーボードを楽しむことができます。2 月の粉雪が舞う中、300 年を超える伝統を持つ、春を呼ぶ奇祭「勝山左義長まつり」が市内で行われ、街には色短冊が揺れ、辻行燈と作り物が飾られる中、左義長太鼓が響き渡り、訪れる人々が笑顔になれる街-約2万人の山あいの市であります。

## 2 安全就業への取組について

（1）安全・適正就業委員会

当センターでは、理事1名と会員6名、職員3名の計 10 名により、2か月おきに「安全・適正就業委員会」を開催し、全国・県内の事故事例を共有し、事故再発防止策の検討や安全就業研修会の計画など、就業環境の安全性向上に努めています。

（2）安全パトロールの実施

屋外作業が本格的に開始する4月から12月まで、毎月1回安全・適正就業委員会委員と職員3名がパトロールを実施し、「安全就業チェックリスト」に基づき、服装・安全保護具の着用状況、器具・道具の使用状態、就業場所の安全確保などを点検しています。特に安全帽の着用と安全な脚立使用に重点を置いています。

（3）安全・適正就業推進大会の開催

10月23日に福祉健康センター「すこやか」において33名の会員参加のもと大会を開催し、勝山警察署員による「管内の交通事故情勢と高齢者事故の特徴」、勝山市健康体育課職員による「住み慣れた地域で健康に過ごすために」、また、連合職員による「刈払機の基礎と事故事例」と題した講演を行い、交通安全や健康管理、就業時の安全意識の向上を共有しました。

（4）注意喚起の取組み

マダニ感染症予防に係る関連資料配布による注意喚起、熱中症警戒アラート発生時のSMS送信等、重大事故の発生を未然に防止しています。



## 3 今後に向けて

この度の受賞を受け、更に現在継続中の無事故日数を延長できるようパトロールを強化し、会員個々の安全就業意識を高め、「事故ゼロ」に向けて会員・役職員一丸となって取り組んでまいります。

**センターの概要（令和７年度）**

① 会員数　290 人　（男性 176 人、女性 114 人）
② 粗入会率　3.1%
③ 就業率　96.6%
④ 就業実人員　280 人　（請負・委任 258 人、 派遣事業 65 人）
⑤ 就業延人員　34,335 人　（請負・委任 29,058 人、 派遣事業 5,277 人）
⑥ 契約金額　1億 5,181 万円（請負.委任 1億 2,097 万円、派遣事業 3,084 万円）

優秀賞

# 公益社団法人 設楽町シルバー人材センター （愛知県）

## 1 設楽町の概要

設楽町は、町の面積の約90%が森林に覆われた自然豊かな町です。愛知県の奥三河地域に位置し、豊川・矢作川・天竜川の源流を有し、「道の駅 したら」や「田峯城」、「津具ほたるの里」などの観光拠点があります。名倉地区や津具地区には広大な水田を擁し、また、高い標高と山間部の気候を活かした高原野菜の栽培が盛んです。

## 2 安全就業への取り組みについて

（1）安全・適正就業委員会

当センターでは、会長を含めた8名の会員と、事務局員5名の計13名からなる安全・適正就業委員会を設置し、年間3回開催しています。委員会では、毎年の初回開催時に、安全・適正就業確認事項を共有し、安全意識の向上に努めています。

（2）安全パトロールの実施

令和7年度は、9月から11月にかけて、当センターで安全パトロールを5回行いました。事務局と安全・適正就業委員が各班会員の作業の様子を観察し、気づいた点について話し合いました。一方的な指導ではなく、作業者の意見も聞きながら方向性を示すことができたので、納得して以後の作業で実施し、安全意識の向上につながりました。また、7月に県シ連の安全パトロールが行われ、適切な指導・助言をいただきました。

（3）各種講習会への参加

令和7年度は、林業・木材製造業労働災害防止協会による各種講習会へ、新規会員をはじめとする延べ7名が参加し、チェーンソーや刈払機の扱いについて学び、講習を無事修了しました。

## 3 今後に向けて

この度の受賞を励みに、当センターでは、今後も安全・適正就業意識を全員でより一層高めていきます。「安全はすべてに優先する」をモットーに、「事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな」を常に呼びかけ、安全就業対策を図りながら、事故ゼロを目指して取り組んでいきます。



センターの概要（令和７年度）

① 会員数　130 人（男性 82 名、女性 48 名）
② 粗入会率　5.5%
③ 就業率　83.1%
④ 就業実人員　108 人　（請負・委任 105 人、派遣事業　9 人）
⑤ 就業延人員　9,238 人日（請負・委任 8,933 人日、派遣事業 305 人日）
⑥ 契約金額　4,930 万円（請負・委任 4,771 万円、派遣事業 159 万円）

優秀賞

# 公益社団法人 幸田町シルバー人材センター （愛知県）

## 1 幸田町の概要

幸田町は、愛知県のほぼ中央に位置し、豊かな自然と自動車関連産業が調和した町です。近年は人口も増加し、住みやすい町として発展を続けています。特産品は筆柿やいちごで、寝具メーカー「エアウィーヴ」の本社がある町としても知られています。

## 2 安全就業への取組について

（1）安全・適正就業委員会

理事7名と安全・適正就業推進員で構成する「安全・適正就業委員会」を設置し、年4回開催しています。委員会では、安全・適正就業実施計画に基づき、事故ゼロを目標として、安全就業の推進に取り組んでいます。

（2）安全パトロールの実施

毎年7月には、屋外就業先を対象とした熱中症パトロールを実施しています。（令和7年度実績：77 就業先）また、安全・適正就業パトロールを年4回実施し、安全保護具の着用状況や就業環境を確認するとともに、会員への安全意識の向上に努めています。

（3）草刈班 飛石事故撲滅への取組

当センターでは、草刈作業における飛石事故防止を重点課題とし、「安全は何よりも優先する」を合言葉に、安全対策を徹底しています。草刈班では毎朝、全班がセンターへ集合し、当日の作業場所や作業範囲を地図で確認するとともに、飛石防止ネットなどの資機材の準備、健康状態の確認、作業内容や終了予定時間を共有し、安全な就業体制を整えています。さらに、平成 30 年には飛石の発生が少ない刈払機3機種について比較検証を実施し、安全性・作業性・効率性を総合的に評価した結果、「草刈丸（ニシガキ工業製）」を採用しました。現在は6台を会員へ無償貸与し、住宅地での作業では飛石防止ネットとの併用を徹底しています。これらの取組により、平成 30 年 10 月から令和6年5月まで約5年6か月間、飛石事故ゼロを達成しました。令和6年5月に1件の事故が発生しましたが、原因を分析し、安全対策を再徹底した結果、その後は現在まで飛石事故は発生していません。平成 30 年以前は年間3～5件発生していた飛石事故が、現在ではほぼゼロとなっており、継続的な安全対策の成果が着実に表れています。

## 3 今後に向けて

今回の受賞は、会員一人ひとりが高い安全意識を持ち、基本動作を着実に継続してきた成果であると考えています。今後も就業前ミーティング、安全パトロール、安全機材の積極的な活用を継続し、事故ゼロを目指して安全就業を推進するとともに、会員が安心して働けるシルバー人材センターづくりに努めてまいります。



センターの概要（令和７年度）

| | | |
|---|---|---|
| ① | 会員数 | 369 人 （男性 229 人 、女性 140 人） |
| ② | 粗入会率 | 3.2% |
| ③ | 就業率 | 99.5% |
| ④ | 就業実人員 | 367 人 （請負・委任 346 人、 派遣事業 30 人） |
| ⑤ | 就業延人員 | 45,883 人 （請負・委任 43,218 人、 派遣事業 2,665 人） |
| ⑥ | 契約金額 | 243,320,079 円 （請負・委任 225,380,091 円、 派遣事業 17,939,988 円） |

優秀賞

# 公益社団法人 桑名市シルバー人材センター （三重県）

## 1 桑名市の概要

桑名市は三重県の北端にあって、緑豊かな鈴鹿連峰と養老山系を背後に、揖斐・長良・木曽の三大河川が伊勢湾に注ぐ堆積デルタ地帯に位置しております。このような立地条件を有している桑名は、古くから海上交通輸送の拠点として発達し、米、木材、油などが集散する商業都市を形成してきました。
また、水産業が盛んで、蛤、シジミ、海苔の産地としても有名です。近年は幹線道路網の整備、大規模な住宅地開発、駅前周辺整備等、都市基盤等の整備が着実に進められており、より魅力ある桑名へと発展しております。

## 2 安全就業への取組について

（1）安全就業委員会

本センターの安全就業に対する組織体制は、「安全就業委員会設置規程」を根拠として、現在、理事2名、会員7名（事務局7名）で構成され、原則、安全就業委員会を年4回開催し、委員会の活動方針を基に安全就業に関する様々な施策等について企画・立案して安全就業の徹底に努めています。

また、委員会内に「事故対策班」を設置し、事故発生の際は現場へ赴き、事故状況及び事故原因等を調査して再発防止策等について協議し、会員に対し周知することで事故削減に努めています。

（2）安全パトロールの実施

安全就業強化月間中及び安全就業委員の自主パトロールなど、年6回以上実施し、現場の安全管理の状況や就業状況等を確認して危険箇所のチェックを行い、即時是正できることはその場で指導し、事故防止に努めています。

（3）熱中症対策について

昨今の夏季における気温は、異常とも言うべき高温が続き、当市においても40度を超えた日もあり、特に日中における屋外就業では、熱中症を意識した対応が求められているところです。適切な水分補給は言うまでもなく、適度な休憩を挟み、午前中のみ就業するなど、積極的な熱中症対策を実施しております。
当センターでは、令和7年度から主に屋外就業者を対象として、ファン付冷却ベストの購入など、冷却グッズ購入に対して補助金制度を導入いたしました。購入額の半額、かつ、1万円を上限とした補助であり、令和7年度は96名の会員が利用し、大変好評でしたので、令和8年度も継続事業として予算確保しました。

（4）各種講習会・研修会の実施

各種講習会等は就業会員の技術向上や安全就業に対する意識の高揚、また、最近では元気に働くためにフレイル予防等に関する講習も開催しております。いずれにしましても、就業中の「事故0」、「怪我0」、そして「元気に楽しく就業」して頂くために今後も各種講習会等を開催していきたいと考えております。



## 3 今後に向けて

この度の表彰は、安全就業に対して、会員・役員・職員が様々な取組みを地道にそして継続した結果の賜物であると感謝しております。この表彰を励みとし、また決して驕ることなく事故の撲滅を目指して引き続き安全就業の徹底に努めてまいります。

**センターの概要（令和７年度）**

| | | |
|---|---|---|
| ① | 会員数 | 877 人 （男性 619 人 、女性 258 人） |
| ② | 粗入会率 | 1.9% |
| ③ | 就業率 | 86.0% |
| ④ | 就業実人員 | 754 人 （請負・委任 621 人、 派遣事業 229 人） |
| ⑤ | 就業延人員 | 95,544 人 （請負・委任 68,136 人、 派遣事業 27,408 人） |
| ⑥ | 契約金額 | 558,309,466 円 （請負・委任 389,544,247 円、 派遣事業 168,765,219 円） |

★★

優秀賞

# 公益社団法人 養父市シルバー人材センター （兵庫県）

（2度目の受賞）

## 1 養父市の概要

兵庫県北部の中央に位置する養父市は、県内最高峰の氷ノ山や鉢伏山など雄大で美しい山々に囲まれた自然豊かなまちです。高速道路を利用すると大阪・神戸から車で2時間足らずと近いため、四季を通じて美しい自然を求め多くの観光客が訪れます。

## 2 安全就業への取組について

（1）安全委員会の活動

安全就業対策を組織的に取り組むために「安全委員会」を設置し、会員の就業に伴う事故を未然に防止する活動を行っています。主な活動は次のとおりです。



⑴ 安全委員会の開催（理事 7 名、会員 4 名、職員 1 名で構成）
⑵ 安全大会の開催と安全宣言
⑶ 安全目標・安全スローガンの設定
⑷ 安全パトロールの実施
⑸ 安全技能講習会及び安全衛生教育（派遣会員）の実施
⑹ 安全就業の啓発活動（会報・月便り・パンフ等で啓発）
⑺ 会員安全就業基準の周知（草刈・剪定作業）
⑻ 通勤災害防止活動（交通事故防止）
⑼ 健康保持の増進、健康管理の推進（特にフレイルを意識した生活習慣と町ぐるみ健診の受診を推奨）

（2）特徴ある安全就業への取組紹介

⑴ 雨天時の作業の回避。特に重篤事故につながる植木剪定や草刈り作業については徹底しています。「安全は全てに優先する」を組織的に取り組んでいます。
⑵ 危険予知活動（KYK）の推奨。多数の会員が関わって行う作業では就業前にミーティングを行い、作業中に、ひょっとして、あるかもしれない事故を予測し、事前に危険に気づき、回避するよう努めています。
⑶ 入会説明時に少し時間を割いて、安全就業を強く印象付け、入会を勧めています。
⑷ 職員の安全意識の向上。月例の職員会議で、必ず安全就業推進員を中心にして、事故の未然防止に向け、事例なども参考に意見を交わし、安全研修を行っています。
⑸ 熱中症予防対策として、就業時間の制限、空調服購入補助、スマイル to スマイルや LINE などで常に注意喚起啓発を行っています。また、センター事務所内に「クールスポット」を設置しています。
⑹ フレイル予防の取組を積極的に行っています。会員向けの研修や講習会の際には、フレイル予防のメニューを必ず取り入れ、常にフレイル予防を意識した生活を送るよう呼び掛けています。

## 3 今後に向けて

この受賞はゴールではなく、新たなスタートです。会員の高齢化が進む中、転倒事故や熱中症への対応がますます重要になっています。今回の受賞を励みとして、今後も「安全は全てに優先する」という基本姿勢のもと、会員の皆さんが安心して働ける環境づくりに努めます。

**センターの概要（令和 7 年度）**

| | | |
|---|---|---|
| ① | 会員数 | 448 人（男性 244 人 、女性 204 人） |
| ② | 粗入会率 | 4.6% |
| ③ | 就業率 | 89.1% |
| ④ | 就業実人員 | 399 人（請負・委任 370 人、 派遣事業 82 人） |
| ⑤ | 就業延人員 | 43,120 人（請負・委任 35,041 人、 派遣事業 8,079 人） |
| ⑥ | 契約金額 | 2 億 4,781 万円（請負・委任 1 億 8,842 万円、 派遣事業 5,939 万円） |

優秀賞

# 公益社団法人 三田市シルバー人材センター （兵庫県）

## 1 三田市の概要

三田市は、兵庫県の南東部に位置し、神戸市・大阪市への交通アクセスに優れ、豊かな自然と都市機能が調和した人口約10万人のまちです。

ニュータウン開発によって子育て・教育環境や生活基盤が充実している一方、歴史ある城下町の面影や里山文化も受け継がれています。また、日本有数のブランド牛である「三田牛」や農産物などの特産品にも恵まれ、暮らしやすさと地域の魅力を兼ね備えた、活力ある田園都市として発展してきました。

最近では、経済雑誌「東洋経済オンライン」が発表した「子育てしやすい自治体ランキング 2025」において、本市が大阪圏の全ての市の中で「第1位」に輝きました。

## 2 安全就業への取組について

⑴ 安全・適正就業推進委員会

理事4名、委員2名で構成する委員会を設置し、年4回程度開催しています。重大事案については、その検証と再発防止策を協議しています。また、熱中症対策のルール化等、会員の安全対策を推進しています。

⑵ 安全パトロールの実施

委員会メンバー及び事務局で、年4回程度、安全パトロールを実施しています。除草や剪定作業の現場だけでなく、駐輪・駐車場や屋内清掃の就業現場なども巡回し、就業状況の点検を行っています。



草刈り機講習会　実施風景

⑶ 各種講習会の実施

飛び石等の事故防止に向け、除草作業を行う会員を対象に、外部講師をお招きし、草刈り機講習会を実施しています。令和7年度は、事故発生のメカニズムや賠償事故について、講義を受け、会員の技術向上と意識啓発を図りました。



植栽管理　安全パトロール　実施風景

## 3 今後に向けて

「安全はすべてに優先する」という基本理念のもと、今後も会員の健康増進と安全就業体制の充実、更なる安全意識の向上を図り、「事故ゼロ」を目指し取り組んでまいります。

新たな取組みとしては、令和8年度から、除草・剪定作業を対象に就業時間を制限する熱中症対策を実施することとなりました。

引き続き、委員会と事務局が一体となり、改革を進めていく所存です。

**センターの概要（令和７年度）**

| | | |
|---|---|---|
| ① | 会員数 | 990 人（男性 714 人、女性 276 人） |
| ② | 粗入会率 | 2.4% |
| ③ | 就業率 | 76.2% |
| ④ | 就業実人員 | 754 人 |
| ⑤ | 就業延人員 | 77,225 人 |
| ⑥ | 契約金額 | 478,439 千円 |

# 上板町シルバー人材センター （徳島県）

## 1 上板町の概要

上板町は、徳島県の北東部にあり、吉野川平野の中北部に位置し、北は阿讃山脈、南は吉野川に挟まれています。阿讃山脈に源を発する泉谷川をはじめ、6河川からの土砂流出による堆積層によって形成された扇状地と吉野川沖積層からなる平坦部の2地区に分かれる人口1.1万人の町です。温暖な気候と農業を基盤に、藍染や阿波和三盆糖などの伝統産業や、柿・桃など豊富な果樹。また、米の生産を主軸に畜産、園芸等農業が主体の町であり、吉野川の自然を活かした暮らしやすい環境が特徴です。

## 2 安全就業への取組みについて

(1)安全・適正就業委員会

当センターでは、会員5名と職員2名の計7名からなる安全適正就業委員会を設置し、年3回程度、意見交換や情報提供などを行い、安全意識を高めています。

(2)安全パトロールの実施

剪定作業や草刈り作業、除草作業などの屋外作業を中心に、担当職員による現場の巡回を日々行っています。特に夏場においては熱中症の危険性があるため、就業日は必ず現場を巡回し、会員の体調や様子に変わりがないか確認しています。

## 3 今後に向けて

この度、初めての受賞となりますが、当センターは小規模センターで会員数が少ないため、日頃から担当職員が一人一人の会員とコミュニケーションを取り、信頼関係を築き上げて、日々安全就業に努めた成果だと思います。これからも事故ゼロを目指して取り組んでまいります。



センターの概要（令和7年度）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | 会員数 | 53人 | （男性37人、女性20人） | | |
| ② | 粗入会率 | 1.2% | | | |
| ③ | 就業率 | 69.8% | | | |
| ④ | 就業実人数 | 37人 | （請負・委任 | 37人、 | 派遣事業 0人） |
| ⑤ | 就業延人数 | 2,604人 | （請負・委任 | 2,604人、 | 派遣事業 0人） |
| ⑥ | 契約金額 | 16,592,015円 | （請負・委任 | 16,592,015円、 | 派遣事業 0円） |

優秀賞

# 公益社団法人　西原町シルバー人材センター　（沖縄県）

## 1　西原町の概要

西原の名称は、首里王府（首里城）の北側に位置する地域で、沖縄の方言で北を「ニシ」と呼ぶことに由来すると伝えられています。産業は、稲作中心からキビ作、亜熱帯果樹栽培、花卉（かき）栽培へと変化し、昭和 40 年代以降は各種産業が進出して商工業も盛んになり、今では県内有数の工業集積率、出荷額を誇っています。また、幼児教育から大学教育までの一貫した教育施設に恵まれており、「文教のまち」として知られています。

## 2　安全就業への取組について

（1）安全・適正就業委員会

理事2名、安全・適正就業推進員1名、会員（班長等）2名で構成されており、委員会には理事長ほか、事務局職員も出席し、安全・適正就業推進計画の策定や就業現場における課題を共有し、事故防止に努めています。

（2）安全・適正就業パトロール等の実施

安全・適正就業委員会の開催日に委員（5名）、理事長、事務局職員による安全・適正就業パトロールを実施し、会員の就業現場の実態を把握するとともに、安全・適正就業委員長からの安全指導、注意喚起を行っています。

また、安全・適正就業推進員が毎月（1回以上）作成する安全適正就業啓発リーフレット「安全就業にしはら」を活用し、パトロールや講習会等において配布して注意喚起を行うなど、安全・適正就業の推進に努めています。



（3）安全・適正就業推進大会の開催

毎年7月に開催する安全・適正就業推進大会において、熱中症に関する動画を視聴し、会員への注意喚起や対策について周知するとともに、会員から募集した安全標語の表彰（3名）を行い、当センターの安全標語として1年間活用し、安全意識の高揚を図っています。



（4）安全・適正就業講習会の開催

安全・適正就業講習会は関係機関と連携し、高齢者向けの交通安全に関する講習会、会員の健康管理に関する講習会を実施し、交通安全及び健康管理に関する安全意識の高揚を図っています。



## 3　今後に向けて

この度の受賞は、安全・適正就業委員会、安全・適正就業推進員の活動と会員の安全就業の取り組みの成果であると思います。今後も「事故ゼロ」を目標に取り組んでまいります。

**センターの概要（令和７年度）**

| | | |
|---|---|---|
| ① | 会員数 | 217 人　（男性 183 人　、女性 34 人） |
| ② | 粗入会率 | 2.0% |
| ③ | 就業率 | 89.9% |
| ④ | 就業実人員 | 199 人　（請負・委任 195 人、　派遣事業 4 人） |
| ⑤ | 就業延人員 | 19,012 人　（請負・委任 18,853 人、　派遣事業 159 人） |
| ⑥ | 契約金額 | 225,468,103 円　（請負・委任 224,559,184 円、　派遣事業 908,919 円） |

# 公益社団法人 横須賀市シルバー人材センター （神奈川県）

## 1 横須賀市の概要

横須賀市は神奈川県南東部に位置し、東京湾と相模湾に面する港湾都市です。人口約 38 万人を擁し、海と丘陵が織り成す地形が特徴です。米海軍横須賀基地や海上自衛隊基地を有し、国際色豊かな街として発展してきました。観光面では猿島、観音崎、ヴェルニー公園など歴史・自然資源が豊富で、三笠公園には戦艦三笠が保存されています。交通は京急線や横浜横須賀道路が中心で、都心へのアクセスも良好です。海洋文化、歴史、国際交流が調和する街として魅力を持っています。

## 2 安全就業への取り組みについて

当センターでは、会員が安心して就業できる環境を確保するため、以下の４つの活動を中心に安全就業の取り組みを実施しています。これらの活動を継続的に行うことで、事故の未然防止と安全意識の向上を図っています。

◆ １．安全パトロールの実施（年 30 回）

４月～12 月、週１回２名で実施、夏季は３名で行っています。

- 就業現場を巡回し、危険箇所や不適切な作業方法、保護具未着用などを確認しています。
- 必要に応じて現場責任者や会員へ改善指導を行い、再発防止策を周知しています。
- パトロール結果は安全就業委員会で共有し、改善事項を次回以降の点検項目に反映しています。
- 特に、防護ネット未設置、ブルーシート未使用、電動工具の不適切使用などは重点確認項目としています。

◆ ２．安全講話の実施

安全就業委員会が主催し、安全講話を年１回実施しています。 講話内容は以下のとおり多岐にわたり、会員の安全意識向上に役立てています。

- 日常からの防災
- AED 講習
- 交通ルール
- 特殊詐欺防止　など

◆ ３．事故情報の共有

- 発生した事故について、事故種別、原因、再発防止策を整理し、委員会・事務局・会員へ周知しています。
- 安全対策が不十分であった事故については、注意喚起チラシを作成し、安全パトロールを通じて作業中の会員へ配布しています。

◆ ４．安全標語の募集

- 会員から安全標語を募集し、安全意識の向上と安全文化の醸成を図っています。
- 安全就業委員会にて選考を行い、優秀作品を表彰することで参加意欲を高めています。
- 選定した標語は掲示物、広報誌、安全講話などで活用し、センター全体の安全意識向上につなげています。



## 3 今後に向けて

横須賀市では重篤な事故は発生していませんが、刈払機の飛び石による損害事故が減少していません。今後も安全パトロールや事故情報の周知を継続するとともに、各種講習会への参画を進め、会員一人ひとりの安全意識を高めることで、事故ゼロの実現を目指してまいります。

**センターの概要（令和７年度）**

① 会員数　1,261 人　（男性　830 人、　女性　431 人）
② 粗入会率　0.7%
③ 就業率　57.1%
④ 就業実人員　721 人
⑤ 就業延人員　64,811 人日
⑥ 契約金額　631,413,400 円　（請負・委任 512,606,462 円、 派遣事業　118,806,938 円）

優良賞

# 公益社団法人 小田原市シルバー人材センター （神奈川県）

## 1 小田原市の概要

小田原市は、神奈川県西部に位置し、人口 18 万 4,000 人、面積約 113.6km²の相模湾と箱根外輪山に抱かれた自然豊かな都市です。

戦国期には後北条氏の本拠として栄え、小田原城を中心に歴史文化が今も息づいています。市街地から海・山へすぐアクセスでき、漁港では多彩な魚種が水揚げされ、地元グルメも充実しています。新幹線・東海道線・小田急線・高速道路が交差する交通の要衝で、首都圏からのアクセスが良好。観光では小田原城、梅まつり、北条五代祭りなどが人気で、歴史と自然を体感できるスポットが豊富です。

温暖な気候と落ち着いた街並みは、観光・生活・文化が調和した“ほどよい都会・ほどよい田舎”として全国から注目を集めています。

## 2 安全就業への取組について

(1) 安全管理委員会の活動

当センターでは、理事 2 名を含む 5 人の委員からなる安全管理委員会を設置しており、年 3 回委員会を開催しています。会員の健康に関することや安全就業に関することについて検討し、推進を行っています。

(2) 安全巡回の実施

委員と事務局職員による就業先の訪問を毎月行い、「安全就業チェックリスト」に基づき、安全の確認や会員の健康状態を把握し、安全就業の推進に努めています。

(3) 熱中症に対する取り組み

会員の健康管理・安全対策の面から、植木剪定や除草作業等の屋外作業において、「熱中症警戒アラート」が発令された場合は、原則、作業は中止とし、就業中の災害防止に努めています。



(4) 各種講習会の実施

交通安全の取り組みとして、警察署・自動車学校と連携を取り、「シルバードライビングスクール」を開催し、交通事故の防止に努めている。

また、消防署の協力を得て、公共施設や福祉施設で就業中の会員を中心にAED講習会を開催し、緊急時の応急処置に役立つ知識やスキルを習得し、安全・健康に対する意識の向上を図りました。

## 3 今後に向けて

会員、役職員一丸となって安全就業に取り組み、こまめな情報提供を行うとともに、安全意識の高揚に努め「事故ゼロ」を目指します。

**センターの概要（令和 7 年度）**

| | | |
|---|---|---|
| ① | 会員数 | 983 人 （男性 632 人 、女性 351 人） |
| ② | 粗入会率 | 1.41% |
| ③ | 就業率 | 53.0% |
| ④ | 就業実人員 | 589 人 （請負・委任 521 人、 派遣事業 68 人） |
| ⑤ | 就業延人員 | 57,785 人 （請負・委任 48,540 人、 派遣事業 9,245 人） |
| ⑥ | 契約金額 | 357,936,976 円 （請負・委任 292,731,941 円、 派遣事業 65,205,035 円） |

優良賞

# 公益社団法人 上越市シルバー人材センター （新潟県）

## 1 上越市の概要

上越市は、新潟県の南西部に日本海に面して位置し、直江津港をはじめ、北陸新幹線や北陸自動車道、上信越自動車道など陸・海の交通ネットワークが整い、平野部、山間部、海岸部と変化に富んだ地形と多様な自然を有する海・山・大地に恵まれた自然豊かな市です。
また、極上の米「上越産米」や「発酵のまち」として自然と伝統が醸し出す「清酒」や「味噌」など多彩な発酵食品を有するほか、春に約 4,000 本の桜が咲き誇る「高田城址公園」、戦国武将「上杉謙信」の居城「春日山城跡」、マゼランペンギンの飼育数日本一の水族博物館「うみがたり」など歴史薫る文化が息づくまちです。

## 2 安全就業への取組について

(1) 安全・適正就業対策委員会

当センターでは、理事 3 名、会員 10 名、事務局職員 3 名の計 16 名で構成する安全・適正就業対策委員会を設置し、年 2 回、委員会を開催しています。委員会では事故発生原因の分析と再発防止に向けた対策の他、安全パトロール、安全就業基準の見直しを行っています。また、安全パトロールでは独自のチェックシートを用い、改善対策を含めた結果を会員にフィードバックすることや、就業報告書の裏面にミーティング内容のチェック項目・ヒヤリハットの記入欄を設け、班長会議等で共有することにより安全対策に繋げています。

(2) 安全意識の啓発

安全意識の更なる定着のため、令和 5 年度より、新たな外部講師に講習内容をオーダーし、上越市の実情に合わせた内容として実施しています。また、機械除草作業については平成 30 年から班長会議を実施し、事故防止に努めています。その他の対策として Smile to Smile を活用した注意喚起を行っています。



(3) 健康増進活動の推進

全国で増加している高齢者の転倒事故を受け、令和 5 年度から転倒防止講習会を開催しています。講習ではエイジフレンドリーガイドラインを基にした座学と、座ったまま出来る体操を行っておりましたが、令和 7 年度から日本ウォーキング協会の有資格者である当センターの職員から、正しい歩き方と筋力低下を抑える運動を行い、転倒防止に努めています。

**センターの概要（令和 7 年度）**

| | | |
|---|---|---|
| ① | 会員数 | 950 人 （男性 657 人 、女性 293 人） |
| ② | 粗入会率 | 1.3% |
| ③ | 就業率 | 85.7% |
| ④ | 就業実人員 | 1,020 人 （請負・委任 814 人、 派遣事業 206 人） |
| ⑤ | 就業延人員 | 80,488 人 （請負・委任 66,472 人、 派遣事業 14,016 人） |
| ⑥ | 契約金額 | 500,786,561 円 （請負・委任 377,548,383 円、 派遣事業 123,238,178 円） |

優良賞

# 公益社団法人 あわら市シルバー人材センター （福井県）

## 1 あわら市の概要

あわら市は福井県の最北端に位置し、日本海や北潟湖、豊かな田園や里山など、多彩な自然に恵まれたまちです。平成 16 年に芦原町と金津町が合併して誕生しました。開湯 140 年以上の歴史を持つ「あわら温泉」は、関西の奥座敷として親しまれる県内有数の温泉地です。また、北陸新幹線芦原温泉駅や北陸自動車道金津 IC を有し、首都圏や関西圏からのアクセスも良好です。農業や観光が盛んで、自然・歴史・文化が調和した、暮らしやすく魅力あふれる地域です。

## 2 安全就業への取り組みについて

（1）安全・適正就業委員会の活動

当センターでは、安全・適正就業委員会を設置し、地区安全対策員との合同会議を開催しています。委員会では、事故発生状況の分析や再発防止対策、安全パトロールの実施計画、安全講習会の開催などについて協議し、安全・適正就業の推進に取り組んでいます。また、地区安全対策員との連携を強化し、地域に根ざした安全活動を継続しています。

（2）安全パトロールと安全教育の充実

屋外作業を中心に、事務局による日常パトロールに加え、安全・適正就業委員、地区安全対策員による合同安全パトロールを実施しています。現場では、安全保護具の着用状況や作業方法を確認し、その場で改善指導を行うことで事故防止に努めています。また、草刈り・チェンソー・交通安全・救急救命など各種講習会を開催し、特に草刈り班・剪定班は定期受講を義務付け、安全意識と技術の向上を図っています。

（3）その他の取組

安全就業チェックシートを活用し、作業開始前のミーティングや保護具の確認を徹底しています。草刈り作業では、飛び石事故防止のため「石トバサーズ」や「スーパーカルマー」の使用を義務付けるとともに、熱中症対策としてリーフレットの配布や声掛け、水分補給・休憩時間の確保を徹底しています。さらに、SMS・LINE を活用し、安全情報や注意喚起を迅速に配信するなど、デジタルを活用した安全管理にも力を入れています。

## 3 今後に向けて

当センターでは、「事故は必ず防げる」という意識のもと、安全就業を最優先に取り組んでいます。今後も安全パトロールや講習会の充実、熱中症対策、安全保護具の着用徹底などを継続するとともに、デジタルツールも活用しながら、安全意識の向上と事故ゼロの実現を目指し、会員・役職員が一丸となって安全・適正就業を推進してまいります。



センターの概要（令和７年度）

| | | |
|---|---|---|
| ① | 会員数 | 317 人 （男性 167 人 、女性 150 人） |
| ② | 粗入会率 | 2.9% |
| ③ | 就業率 | 100% |
| ④ | 就業実人員 | 335 人 （請負・委任 293 人、 派遣事業 85 人） |
| ⑤ | 就業延人員 | 38,223 人 （請負・委任 30,579 人、 派遣事業 7,644 人） |
| ⑥ | 契約金額 | 191,532,605 円 （請負・委任 139,039,344 円、 派遣事業 52,493,261 円） |

# 公益社団法人 江南市シルバー人材センター （愛知県）

## 1 江南市の概要

江南市は愛知県の北西部（清流木曽川南岸の扇状地）に位置し、名古屋市のベッドタウン（20 ㎞圏、公共交通機関で約 20 分）として発展しており、生活利便性と自然環境が調和した人口約 9.8 万人のまちです。
また、尾張地方屈指の藤の名所「曼陀羅寺公園」とともに、戦国時代には「織田信長」や「豊臣秀吉」が若き日を過ごしており、多くの歴史資源が残っています。

## 2 安全就業への取組について

（1）安全・適正就業委員会

当センターでは、理事5名、職員2名の計7名で構成する安全・適正就業委員会を設置し、年9回の委員会を開催しています。 委員会では、安全就業対策事業について、実施体制、事故事例など振返りによる改善を基本とし、「会員による自主・自立的な安全就業の実施」、「委員会及び事務局によるパトロール」、「講習会等の実施」、「連合会との連携」及び「事故発生時における委員会の開催」を柱として施策を進めています。

（2）安全パトロールの実施

安全・適正就業委員により、繁忙期は月2回、閑散期は月1回安全パトロールを実施しています。パトロールでは、事前確認チェックシートと併せた就業現場の検証とともに、安全就業基準に基づく安全保護具の着用及び作業手法の確認、指導を行っています。

（3）各種講習会の実施

動力刈払機の点検及び安全講習、庭木剪定作業安全講習、健康衛生研修などを開催し、会員の知識やスキルの向上を図るとともに、健康衛生管理に対する意識啓発に努めています。



## 3 今後に向けて

会員の高齢化が進む中、さらに安全就業対策を講じていく必要があります。今後も引き続き「安全はすべてに優先する」、「安全なくして就業なし」を合言葉に、安全装備の使用徹底とともに、新たな安全対策の調査・研究、事故防止器具等の啓発に努め、「事故ゼロ」を目指して取り組んでまいります。

**センターの概要（令和７年度）**

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① | 会員数 | 289 人 | （男性 209 人、 女性 80 人） |
| ② | 粗入会率 | 0.9% | |
| ③ | 就業率 | 97.6% | |
| ④ | 就業実人員 | 282 人 | （請負・委任 251 人、 派遣事業 56 人） |
| ⑤ | 就業延人員 | 35,509 人 | （請負・委任 30,236 人、 派遣事業 5,273 人） |
| ⑥ | 契約金額 | 1 億 7,996 万円 | （請負・委任 1 億 5,820 万円、 派遣事業 2,177 万円） |

優良賞

# 公益社団法人 知立市シルバー人材センター （愛知県）

## 1 知立市の概要

知立市は、愛知県のほぼ中央に位置し、名古屋市から約 25km 圏内にある人口約 7 万 3 千人の都市です。古くから交通の要衝として発展してきた歴史を持ち、鎌倉時代には鎌倉街道、江戸時代には東海道が通る重要な地点でした。東海道 39 番目の宿場町「池鯉鮒（ちりふ）宿」として栄え、この「池鯉鮒」が現在の「知立（ちりゅう）」の由来となっています。

現在も交通利便性の高さは変わらず、名古屋鉄道本線と三河線が交差する知立駅を中心に、国道 1 号・155 号や 23 号知立バイパスなどの広域交通網が整備されています。そのため、名古屋市や周辺都市への通勤・通学に便利な立地として、ベッドタウンとしての住宅都市化が進んでいます。

## 2 安全就業への取組について

（1）安全・適正就業委員会

安全・適正就業委員会を理事、作業班長、その他会員、事務局職員の計 11 名で構成し、年3回、委員会を開催しています。委員会では、会員の就業中に発生した事故や他市での事故事例を参考に、問題点や原因を検証し、当センターにおける事故予防につながる対策を会員全体で取り組んでいます。

（2）作業現場巡回（安全パトロール）

安全・適正就業委員2名と事務局で、年9回の作業現場巡回（安全パトロール）を実施しています。現場では、「安全意識の確認」「作業手順の確認」「現場における事故リスクへの認識」について、各委員が聞き取りによる点検を行っています。巡回結果は持ち帰って報告書にまとめ、各作業リーダーへ情報共有を行っています。

（3）安全意識向上への取り組み

1月の仕事始めに「安全講習会」を開催し、安全作業への基本意識や健康な身体づくりのセルフケアなど、就業と会員の健康をテーマとした講習を実施し、安全就業への意識向上を図っています。引き続き、リスクを回避するための学びの場として、その充実に努めてまいります。



## 3 今後に向けて

会員が安心して働き続けられるよう、安全就業への取り組みをより一層強化していく必要があります。特に高齢者は転倒や熱中症のリスクが高いため、安全講習の充実や健康管理の徹底が重要となります。また、高所作業など危険を伴う業務については、改めて内容を見直し、無理のない就業環境の整備を引き続き進めてまいります。さらに、ICT を活用した情報共有や注意喚起を推進し、「安全はすべてに優先する」という意識を会員全体で共有することで、誰もが安心して働ける環境づくりに努めてまいります。

**センターの概要（令和 7 年度）**

① 会員数　435 人　（男性 245 人　、女性 165 人、未回答 25 人）
② 粗入会率　2.2%
③ 就業率　85.7%
④ 就業実人員　373 人　（請負・委任 346 人、　派遣事業 27 人）
⑤ 就業延人員　35,436 人　（請負・委任 31,895 人、　派遣事業 3,541 人）
⑥ 契約金額　1 億 8,140 万円　（請負・委任　1 億 5,763 万円、　派遣事業 2,377 万円）

## 公益財団法人 こうべ産業・就労支援財団神戸市シルバー人材センター西区センター （兵庫県）

### 1 神戸市西区の概要

神戸市西区は神戸市の西端に位置し、面積は神戸市９区の中で北区に次いで２番目に広い区です。1970年頃から神戸市中心部のベッドタウンとして開発が進み現在の人口は市内最多となっています。西区はニュータウン開発を契機に 1982 年に誕生した市内で一番新しい行政区ですが、自然環境に恵まれ、稲作・果物栽培・畜産などの農業地域も広がり、一方で西神工業団地などが開発され、現在では工業が西区の産業に占める割合も大きくなっています。また、大学の開学も進み、活気のある街づくりがされてきました。神戸市シルバー人材センターには４つのセンターがありますが、西区センターでは地域特徴に応じた様々な就業機会を会員に提供しております。

### 2 安全就業への取組について

（1）安全就業推進委員会

委員会は会員6名、4 センターの各所長、職員 2 名で構成され毎月開催。事故内容の分析、具体的な対策などを検討する場となっています。過去には除草作業でのカルマー刃以外の使用禁止、熱中症対策で夏季期間の屋外作業の制限などで議論を重ね具体的かつ踏み込んだ決定事項を提言してきました。※「月刊シルバー人材センター」令和８年６月号掲載の「現場の事故に向き合い、会員と共に作り上げる安全対策」の記事を是非ご覧ください。

（2）安全パトロールの実施

委員会では安全パトロールチェックリストを制定し、気になる点（安全上の気付き、契約との相違等）を中心に幅広く現場確認を行い、データベース化することが提言され、各センターのコーディネーターが現場巡回を行っています。西区センターだけでなく、他のセンター事例も共有できることで職員の意識向上に役立っています。

（3）職員・会員への周知

事故事例・対策を確実に職員および会員に周知することが重要です。西区センターでは委員会での情報等を速やかに職員に伝え、会員には本部から「安全就業だより」を Smile to Smile で発信しています。会員に読んでもらい安全意識を高めてもらうためには、場合によってはセンターから架電や書面郵送での注意喚起も必要となってきます。

### 3 今後に向けて

この度の受賞は神戸市シルバー人材センター全体の地道な取組みと会員の高い安全意識の賜物と感謝しています。しかしながら日々現場で多くの会員が就業し、思いもかけない事故も発生します。会員および職員が常に入れ替わっていく業務でもあり、安全への取組は永遠に続く課題です。「安全は全てに優先する」「①当たり前のことを②バカにしないで③ちゃんとやる」といった基本を言い続け、愚直に事故防止に取り組んでまいります。



**センターの概要（令和７年度）**

① 会員数 1,092 人 （男性 690 人、 女性 402 人）
② 粗入会率 1.3%
③ 就業率 78.1%
④ 就業実人員 853 人 （請負・委任 679 人、 派遣事業 174 人）
⑤ 就業延人員 96,844 人 （請負・委任 63,864 人、 派遣事業 32,980 人）
⑥ 契約金額 517,402 千円（請負・委任 332,643 千円、 派遣事業 184,759 千円）

優良賞

# 公益社団法人 智頭町シルバー人材センター （鳥取県）

## 1 智頭町の概要

智頭町は、鳥取県の東南に位置し、南と東は岡山県に接しています。周囲は 1,000m級の中国山脈の山々が連なり、その山峡を縫うように流れる川が、千代川となり、日本海に注いでいます。その昔から、長い歳月を経て、あの鳥取砂丘の砂を育んだ源流のまちです。まちの総面積の9割以上が山林で、スギをはじめとする見渡すかぎりの緑が一面に広がります。春には、ソメイヨシノ、シャクナゲ、ドウダンツツジ、夏には清涼な緑が、秋は紅葉、そして冬には雪化粧と、1年を通してまちを彩る植物や、美しい自然にあふれています。また、古くからの交通の要衝で京阪神と結ぶ第三セクター鉄道智頭急行の本社がある県東部の玄関口のまちです。

## 2 安全就業への取組について

(1) 安全・適正就業推進委員会

理事 1 名、会員3名、職員 1 名で構成し年 2 回程度開催しております。年度当初の会では前年度の行動実績について協議し当該年度の安全・適正就業推進事業計画を策定し安全・適正就業の推進に努めています。

(2) 安全パトロール

職員による安全パトロールを特に全国的に事故の多い剪定・草刈り作業を中心に月 2 回以上目指して実施しており、また安全・適正就業推進委員会によるパトロールも年 1 回以上実施するようにしています。

(3) 安全講習会

年度初めを迎えるにあたって 3 月に、安全・健康管理等の講習会を実施しています。

令和 7 年度は、会員のフレイル予防及び認知症に関する研修を行いました。



## 3 今後にむけて

今回の表彰を励みに、「安全はすべてに優先する」ということをなおいっそう徹底し、事故ゼロに向けて役職員一丸となって取り組んでいきたいと思います。

**センターの概要（令和 7 年度）**

① 会員数　182 人　（男性 104 人　、女性 78 人）
② 粗入会率　5.8%
③ 就業率　90.7%
④ 就業実人員　165 人　（請負・委任 155 人、　派遣事業 26 人）
⑤ 就業延人員　6,008 人　（請負・委任 4,575 人、　派遣事業 1,433 人）
⑥ 契約金額　28,567,077 円　（請負・委任 19,215,575 円、　派遣事業 9,351,502 円）

優良賞

# 公益社団法人　日向市シルバー人材センター　（宮崎県）

## １　日向市の概要

日向市は、宮崎県の北部に位置し、東は日向灘に面する平野が広がり、西は九州山地に繋がる山間部となります。人口 55,000 人の小規模市であり自然豊かな土地で、「馬ケ背」や「クルスの海」等の風光明媚な観光地、「日向木挽き唄」・「ひょっとこ踊り」等の芸能、お倉ヶ浜や金ヶ浜のサーフィンも有名です。神武東征の出発地とされる美々津等、日向市は古い歴史を有する地でもあります。

## ２　安全就業への取組について

（１）安全・適正就業委員会

当センターでは、理事２名を含めた会員４名と、安全就業推進員、事務局員の６名からなる安全・適正就業委員会を設置しています。毎月の安全パトロールへの参加と、年２回の会議を行っています。会議では年間計画策定と施策実施、安全標語・川柳の審査等をします。また年２回「安全だより」を発行しています。

（２）安全パトロールの実施

安全・適正就業委員会では毎月安全パトロールを実施しています。隔月で、事前告知をする月と事前告知をせずに巡回する月を交互に行っています。事前告知をするのは、会員に安全就業をより意識づけ、できていることを誉め評価して自信をつけさせるため。事前告知をしないのは、日常の様子をチェックし、気になる点があればよりよくするためです。じっくりと会員の話を聞くことに重きを置き、一方的な訓示とならないように心掛けています。巡回後には各現場の様子について話し合い、その内容を安全パトロール便に掲載し会員へ知らせています。

（３）安全・適正就業研修会の開催

草刈班・剪定班・清掃班の職群班ごとに、年１回研修会を開催し安全就業意識を高め、実践的な講習をしています。

（４）安全標語・川柳の募集

安全意識を高めるために毎年安全標語・川柳を募集し、安全・適正就業委員会で審査し、10 月のシルバー行事の開会式で参加者全員の前で表彰をしています。



安全パトロールの様子

## ３　今後に向けて

これからもこの賞を励みに更なる安全就業意識の徹底目指して取り組んでまいります。

**センターの概要（令和７年度）**

① 会員数　　453 人（男性 271 人　、女性 182 人）
② 粗入会率　　2.0%
③ 就業率　　91.2%
④ 就業実人員　436 人（請負・委任　413 人、　派遣事業　23 人）
⑤ 就業延人数　32,089 人（請負・委任　30,514 人、　派遣事業　1,575 人）
⑥ 契約金額　242,615,343 円（請負・委任　229,573,044 円、　派遣事業　13,042,270 円）

# 公益社団法人 高知県シルバー人材センター連合会

## 1 高知県の概要

高知県は四国の南側で太平洋に面し、面積は約7,100平方キロメートルと四国最大です。県土の84%を森林が占める全国一の森林県で、清流四万十川や仁淀川ブルーをはじめとする自然環境が豊富です。また、日本国内のみならず世界中に派生している「よさこい祭り」や「カツオのたたき」をはじめとする海の幸・山の幸と19酒蔵による日本酒を「食べて飲んで楽しむ」文化は観光客にも人気があります。そして、NHKで取り上げられている坂本龍馬(『龍馬伝』)や牧野富太郎(『らんまん』)、やなせたかし(『あんぱん』)、中濱万次郎(『ジョン万』:令和10年予定))を輩出した県として知られています。

## 2 安全就業への取組みについて

(1)安全委員会

委員会は、各センター及び連合会の事務局長で構成し、年1回(事故発生状況により回数を増)開催しています。委員会においては、事業計画の策定、安全・就業パトロール、安全就業研修会の実施、傷害事故及び賠償事故の事故内容の情報共有、事故防止対策の検討等を行い、安全意識の向上に努めています。

(2)安全就業研修会

毎年、事故発生状況などを踏まえ、各センターの安全・適正就業委員会委員や事務局職員を対象に、安全就業研修会を実施しています。昨年の研修会では、外部講師を招き、刈払機による飛石事故の防止に対する知識の習得や実技を通して、就業現場において刈払機の安全な取扱いの指導等が行えるようになることを目指しました。また、より多くの会員の方に安全就業研修が受講できるよう、各センターに委託し、地域ごとに安全就業研修会を開催しています。

(3)安全就業パトロール

年間を通じて県内のセンターが行う安全パトロールに連合会職員も同行し、就業現場における安全就業状況を確認するとともに、事故防止に向けた指導や注意喚起を行っています。令和7年度は7センター11カ所のパトロールを行い、各センターの安全・適正就業委員会委員やパトロール指導員、事務局職員とともに傷害事故や賠償事故が起きやすい剪定作業や刈払機による除草作業の現場を重点的に巡回し、不適切な点については安全就業対策の見直しと改善を指導・助言しています。



## 3 今後に向けて

事故を未然に防ぎ、再発を防止するため、センター及び会員に向けて、安全意識の向上を目的とした研修会やパトロールをより充実させ、安全就業対策の推進を一層強化していきます。

特に刈払機による飛石事故が増加しているので、作業前点検時から事故防止を強く意識した取組みをセンターと連携しながら進めていきます

**シルバー連合の概要(令和7年度)**

| | | |
|---|---|---|
| ① | センター数 | 19団体 (国庫補助対象団体17団体、 国庫補助対象外団体2団体) |
| ② | 会員数 | 4,530人 (男性2,803人 、女性1,727人) |
| ③ | 粗入会率 | 1.7% |
| ④ | 就業率 | 76.2% |
| ⑤ | 就業実人員 | 3,453人 (請負・委任 3,232人、 派遣事業 494人) |
| ⑥ | 就業延人員 | 301,503人 (請負・委任 259,423人、 派遣事業 42,080人) |

# 公益社団法人 茨城県シルバー人材センター連合会

## 1 茨城県の概要

茨城県は関東地方の北東部に位置し、県庁所在地は水戸市となっております。日本三名園の一つである偕楽園や、四季折々の自然が美しい筑波山、世界最大級の青銅製大仏である牛久大仏など、多くの観光名所があります。

また、メロンやれんこん、干しいもなどの特産品やあんこう鍋などの郷土料理も有名です。さらに、科学技術の拠点であるつくば市には多くの研究・教育機関が集まるなど、自然、歴史、産業、文化が調和した魅力あふれる県です。

## 2 安全就業への取組

(1) 安全就業対策推進委員会

重篤事故発生時には、委員会による現地確認・調査・分析及び再発防止指導を実施するとともに、各センターに事故の発生状況、防止対策等について文書により注意喚起を行っています。

連合会ホームページ「会員専用ページ」において、安全就業パトロールでの点検結果や改善内容及び四半期ごとに各センターから報告を受け作成している「傷害事故発生状況等」のほか、安全対策や活動内容の取組事例等について掲載し、情報提供を行っています。

(2) 安全就業促進大会

会員の安全就業についての意識の高揚を図るための大会を開催し、安全就業の取り組みの促進と就業中及び就業途上における事故発生の未然防止に努めています。



令和７年度　安全就業促進大会

(3) 安全就業パトロール

定期的に各センターへのパトロールを実施することで、就業現場を訪問し作業状況の点検・確認及び各センターの安全委員との懇談により、取組状況の聴取と事故防止に向けた改善策の検討を行っています。

(4) 安全就業対策講習会

特に傷害・損害賠償事故発生の多い就業（作業）等に係る講習会を開催しています。

## 3 今後の目標

安全な就業には、継続して意識を高めることが必要であり、今後も引き続き各種取組により安全就業の啓発に努めます。

また、高齢者の自転車使用中の交通事故は重篤事故になる可能性が高いことから、令和8年4月1日の道路交通法改正（自転車に対する交通反則告知制度の導入等）を契機に、自転車で作業現場に向かう会員等に対し、安全対策の周知を図ります。

**シルバー連合の概要（令和７年度）**

① センター数 42 団体（国庫補助対象団体 39 団体・国庫補助対象外団体 3 団体）
② 会員数 14,642 人（男性 9,657 人・女性 4,985 人）
③ 粗入会率 1.4%
④ 就業率 77.3% （請負・委任 59.6%・派遣 82.8%）
⑤ 就業実人員 11,324 人（請負・委任 8,730 人・派遣 3,546 人）
⑥ 就業延人員 1,194,086 人日（請負・委任 828,260 人日、派遣 365,826 人日）